

フラットパネルディスプレイの 人間工学シンポジウム2013

- 主催：ディスプレイデバイス事業委員会
人間工学専門委員会
- 担当部署：コンシューマ・プロダクツ部
- 参加者数：約130名

概要

お陰様をもちまして、フラットパネルディスプレイ（以下、FPD）の人間工学シンポジウム2013は、2001年から毎年開催し、今年で13回目となりました。

今回のシンポジウムでは、色の視覚特性・色再現や3Dディスプレイ・モバイルの技術動向を紹介しました。さらに、質感と臨場感及び超高解像度など様々な切り口で講演頂き好評を頂きました。

そして、今後のディスプレイの未来像について、2013年のホットトピックを取り上げて、今後の日本FPD産業復活への提唱として具体的かつタイムリーな話題について講演がありました。

とくに、「人間中心のディスプレイ開発ーディスプレイのあるべき姿の提案ー」の講演については、人間工学専門委員会と客員によるディスプレイデバイスにおける研究テーマを具体的に指し示すことにより、多数の受講者から大変多くのご好評の声を頂きました。

当日は、約130名の方々からご出席を賜り、盛会のうちに終了致しました。

本シンポジウムは、一般社団法人日本人間工学会からも協賛を頂き、次のようなプログラムが進められました。

2014年3月にも、本シンポジウムの開催を予定しております。皆様の奮ってのご参加をお待ち申し上げます。



プログラム

○はじめに

人間工学専門委員会挨拶

○セッション1 / 色の視覚特性 究極の色再現とカラーマネジメント (座長：(株)東芝 今井 氏)

- ・超忠実・広色再現 リアリスティックディスプレイ
東京工業大学 教授 山口雅浩 氏
- ・カラーマネージメント関連最新動向 -色空間の標準化動向-
ISO/TC130/WG2国内委員会 ト部 仁 氏

○セッション2 / 3D・モバイル (座長：(株)ジャパンディスプレイ 久武 氏)

- ・どうしたら3Dディスプレイが爆発的に普及するか
(株)日立製作所 小池崇文 氏
- ・自工会画像表示位置ガイドライン
日本自動車工業会 HMI分科会 中村之信 氏

○セッション3 / 質感と臨場感 (座長：(株)東芝 小曳 氏)

- ・質感研究の現状と展望
豊橋技術科学大学 教授 中内茂樹 氏
- ・全天周(ドーム)型4K2Kディスプレイ
和歌山大学 教授 尾久土正巳 氏

○セッション4 / 超高解像度 (座長：シャープ(株) 富沢 氏)

- ・知覚されるHDTV画質の画面サイズ効果
シャープ(株) 神田貴史 氏
- ・スーパーハイビジョンLCD-TV
シャープ(株) 熊倉 威 氏
- ・ハイビジョン・3D・4K・スーパーハイビジョンへの展望
(株)NHKメディアテクノロジー 西田泰章 氏
- ・スーパーハイビジョンの国際標準化動向
日本放送協会 菅原正幸 氏

○特別講演 (座長：ソニー(株) 中枝 氏)

- ・究極のテレビ、究極の画質
津田塾大学 講師 麻倉怜士 氏
- ・総論：人間中心のディスプレイ開発 -ディスプレイのあるべき姿の提言-
人間工学専門委員会

○おわりに

ディスプレイデバイス事業委員会 委員長 佐藤 肇 氏